

低温と水害の現状

ファーマーズクラブ通信は、やっばし北海道の取り組みや、農業生産者会員の情報を提供する不定期機関紙です

【ファーマーズクラブ農産品の状況】

6月からの長期日照不足と低温による影響、7月始めの雨による被害で多くの影響を受けました。日本各地の台風による影響をはじめ、例年にない異常な気候が続いています。札幌では、7月に入ってからの日照時間も平年の35%と極端に低くなっています。この時期に必要な日照時間と、温度不足、そして多雨は深刻な状況と見ます。水に浸かった畑は、畑の作業ができず次の苗が徒長したりして定植に影響を与え9月の収穫物が懸念されます。既に、水に浸かった畑では野菜が酸欠状態で根が弱り、あきらめ得ない状況です。

本州の水害による農作物被害、物流問題も含め、北海道だけに留まらず、全国的な問題となっています。取扱のお店においても、このようは時に消費者の理解を頂き規格外れの商品販売に協力をしていく事が生産者の励みとなります。全国の農家に是非希望の手を差し伸べてあげて下さい。

訪問した現状を報告させていただきます。



浸水したブロッコリー

既に、根が腐りこの畑は放棄せざる得ない状況です。水が引くと異臭があたり一面覆います

懸命な排水作業

まだ希望の持てる畑は、気温9度と異常に低い中泥まみれになり作業
 次の移植定植にこれからが影響します。



浸水による被害

丸の部分は、既に酸欠状態で腐敗が始まっています。他の物も収穫が出来るか、成長を待つことは出来ず、小さな物も少しでも商品として流通させていきたいのですが？

← サイズ不足のブロッコリー



浸水したレタス畑

浸水したレタスは病気が発生し収穫はあきらめないといけない状況です。



倒伏したトウモロコシ

雨と風の影響で倒伏し、これからの受粉の時期に何がしかの影響を与えるかも知れません



受粉期のコーン

7月下旬を予定しているコーンは受粉の時期で雨に打たれ先端不稔、身の中に不燃のツブが入ったりするものも多く発生する事があります。



ミニトマト

日照の必要なトマトは低温も影響し生育のバラツキ、色が付かない、糖度がのりにくい等の影響が出てきています。

その他、じゃが芋、玉葱、人参等にも影響が？
 これからの天候の状況では、定植遅れ等による8月以降の商品にも深刻な影響が考えられます
 規格、サイズにこだわらず取扱をして行くための方法を今から取組んで行くことが必要かと思ひます。
 北海道だけの問題ではなく、全国的に深刻な状況です。